


台風 12 号被害状況（大峰山系登山コース）調査総括表

	登山コース	実施日	実施団体
ル ー ト ① 行 者 還	大川口～行者還岳(関電ルート)	2011年11月9日	奈良山岳会
	被害の状況 ○倒木(2カ所)、梯子崩落で登山道を損傷するも通過は問題なし ○登山道の管理が徹底されていないため、荒れており、一般登山道としては整備が必要	その他 別添詳細報告書を参照	
ル ー ト ② 行 者 還	大川口～行者還岳(小坪谷ルート)	2011年11月9日	奈良山岳会
	被害の状況 ○小坪谷支流地点での登山道破損(鉄砲水の影響)も通過は支障がない ○全般にルートの表示がなく迷いやすい。一般登山道の利用にはルート表示が必要(下山路として活用がベスト)	その他 別添詳細報告書を参照	
和 佐 又 行 者 還	和佐又～大普賢岳～行者還岳～行者還トンネル東口	2011年11月6日	奈良岳志会
	被害の状況 ○トンネル東口からの林道崩壊 ○登山道は損傷無し	その他 (関連調査)水太谷—奥駆道 岩本新道—無双洞 いずれも問題なし	
大 大 大 普 賢 橋	大峰大橋～山上ヶ岳～大普賢岳	2011年11月20日	奈良岳志会
	被害の状況 ○竜ヶ岳頂上より東側倒木多数も通行には支障なし	その他 (関連調査)上谷—阿弥陀ヶ森 問題なし	
吉 野 道 吉 野 道 け	大峰大橋～洞辻茶屋～大天井岳～青根ヶ峰～吉野山	2011年11月20日	明日香山岳会 まほろば山好会
	被害の状況 ○コース全体としては倒木等あるものの登山には支障なし ○要整備箇所 ・五番関手前の谷2カ所、老朽化及び安全のために付け替え必要	その他 金峯神社下地点、バス道路通行止 吉野山中千本東側道路 通行止 別添詳細報告書を参照	
弥 山 ・ 双 門	熊渡～弥山川(白川八丁～双門～川原小屋)～狼平	2011年11月26日	奈良山岳会
	被害の状況 ○コース全体としては小さな崩落はあるものの登山には支障なし ○林道区間 崩落2箇所有り車両通行は不可も歩行の影響はない 河原小屋付近 大規模な崩落で小屋は消滅するもルートは確保出来る	その他 別添詳細報告書を参照	
辻 役 場 ・ 枿 山 尾	天川村役場～陣ノ峯～枿尾辻～枿尾山～大平辻	2011/11/3日	檀原山岳会
	被害の状況 ○役場前から枿尾辻～枿尾山間は被害なし ただし下山路である枿尾山～坪の内林道は、ダム湖になっているため坪内には下山できず。往路を戻る	その他	
高 城 山 天 狗 倉 山	沢原～五色谷～天狗倉山～高城山～五色谷	2011年10月16日	奈良岳志会
	被害の状況 ○白石谷の五色谷出合付近崩壊も登山道としては被害なし	その他	
法 力 峠 ・ 観 音 峯	御手洗～観音峯～法力峠～洞川	2011年11月13日	中体連登山部
	被害の状況 ○御手洗溪谷 異常なし 登山口～観音峯 倒木2本あるも登山には支障なし 観音峯～法力峠 異常なし	その他 法力峠より洞川間において水場が崩落により消滅	
弥 山 前 奥 前 鬼 ・ 前 鬼 ・ 前 鬼 ・ 前 鬼	弥山～釈迦ヶ岳～太古の辻～前鬼	2011/10/30・31日	高体連登山部
	被害の状況 ○全コース中、倒木、崩落、梯子の決壊あるもいずれも迂回で通行可能 ○太古の辻～前鬼間の沢筋の登山道確認が困難、ルート表示が必要 太古の辻～2つ岩間の木製梯子が崩壊	その他	




台風12号災害にかかる大峰山系登山道調査報告書

登山コース	大峰縦走路(弥山～八経ヶ岳～釈迦ヶ岳～太古の辻～前鬼)
調査実施	平成23年10月30日～31日 担当:高体連登山部
調査概略	<p>全コース中、倒木、崩落、梯子の決壊等はあるものの、いずれも迂回することで通行は可能以上の内容は下記のとおり</p> <p>①倒木 明星ヶ岳の南、標高1780メートル地点。 ②崩落 1694ピークの北のコルの北側、北緯34° 09、東経135° 54地点。 ③崩落 五鉢峰すぐ北の沢。・・・大きな崩れ。 ④倒木 1658メートルピーク南・・・倒木2～3本が、道をふさいでいる。 ⑤梯子破損 太古の辻～二つ岩間。上り下りの気のハシゴが、落ちている。</p>
調査詳細	<p>■当該箇所の地図上での位置(別添地形図のとおり) ■当該箇所の写真</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>①倒木</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>②崩落</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>③崩落</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>④倒木</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>⑤梯子破損</p> </div> </div>

台風12号災害にかかる大峰山系登山道調査報告書

登山コース	大川口～行者還岳(旧関電ルート)
調査実施	平成23年11月9日 担当:奈良山岳会
調査概略	<p>関西電力の鉄塔巡視ルートとして開発されたルートだが、近年に鉄塔が撤去されたため、ルート整備は殆ど行われていない。よってコースは台風12号に関わらず荒れ気味で、フィックスロープなど、不完全なものもあり、整備が必要と思われる。</p> <p>被害状況としては、一部倒木があるものの、歩行困難な状態にはあらず。状況は以下のとおり</p> <p>①倒木 標高930m付近、登山口から80分の尾根を越した斜面。歩行には支障がない</p> <p>②倒木 上記より2分程度の地点。倒木あるもくぐり抜けられる</p> <p>③へつり ルートは行者還岳の西南基部の岩稜沿いに拓かれているが、これらの数地点において、ロープまたは針金によってフィックスが張られているが、数力所において不十分なものや新たに設置されるべき箇所があった(一般登山者向けには要整備が望ましい)</p> <p>④梯子破損 架設された梯子が崩落し使用不能。ただし、通行には大きな支障はない。</p>
調査詳細	<p>■当該箇所の地図上での位置(別添地形図のとおり)</p> <p>■当該箇所の写真</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>①倒木</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>②倒木</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>③へつり(要フィックスロープ掛け替え)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>④梯子崩落</p> </div> </div>

台風12号災害にかかる大峰山系登山道調査報告書

登山コース	大川口～行者還岳(小坪谷ルート)
調査実施	平成23年11月9日 担当:奈良山岳会
調査概略	<p>関電ルートが整備される以前の大川口～行者還岳ルートとして整備されたが、関電ルートの整備によって近年の利用が減少。今回の調査は行者還岳より下降。</p> <p>○ルートは、関電ルートのように岩壁をトラバースするような箇所もなく、危険性は殆どないがルート確認が困難な箇所が多く、一般登山道とするには、標識設置などの表示が必要とくに、大川口からの入山は、ルーファイに困難性があり薦められない。</p> <p>○整備は、人工物を設置してのルート確保などの必要性はなく、コースを識別できる標識表示でよい。現状でも、これらの標識が断続的に確認されるが、小坪谷支流の上部からは少なく、迷いやすい改善が必要な箇所は下記のとおり</p> <p>①大峰縦走路の直下付近 コース表示の標識(現状も確認は可能)</p> <p>②崩落 ルートを切り裂くように崩落も迂回などで対応できる</p> <p>③ルート表示の要有り 小坪谷支流地点のルートが確認しづらい</p>
調査詳細	<p>■当該箇所の地図上での位置(別添地形図のとおり)</p> <p>■当該箇所の写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①大峰縦走路の直下付近</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②小坪谷支流の直前で登山ルートが分断されている</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③上記②の地点を経て小坪谷支流のこの地点至る。入山経路の場合、本地点のルート確認やや困難を極めることが予想される</p> </div> <p>■本ルートは、なだらかな斜面を下降して、末端の尾根を回り込んで小坪谷支流に至り、この支流沿いを小坪谷に至る自然美溢れるコースで、下降路または登行路にも簡便なコースとして整備されることが望ましい。</p> <p>一般的には、関電ルートから入山し、行者還岳を経て本ルートを下山するコースとすれば一般登山向けのコースとなる。</p>

台風12号災害にかかる大峰山系登山道調査報告書

登山コース	大峰大橋～洞辻茶屋～大天井岳～青根が峯～吉野山
調査実施	平成23年11月9日 担当:明日香山岳会、まほろば山好会
調査概略	<p>コース全体として倒木等あるものの登山行動には支障なし 以下、詳細報告(NOは添付地図位置のNOの位置を示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①青根ヶ峯山頂 倒木有り ②二蔵宿 車道五番関まで通行止めのロープ(登山路は支障なし) ③大天井直下 東側谷崩落 砂防工事必要?(登山路支障なし)下記添付写真のとおり ④五番関 女人結界より山上側の谷、地盤が軟らかく橋が必要かも? この地点より山上側の谷の木橋が老朽化のため掛け替え必要 ⑤洞辻茶屋より大峰大橋に少し下った地点 登山道が荒れている整備必要
調査詳細	<ul style="list-style-type: none"> ■当該箇所の地図上での位置(別添地形図のとおり) ■③地点の写真(4枚とも同じ地点) <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

弥山川（双門ルート）調査報告

